

はつとてちよと面々と書ふに全圖の世をた
くまゝしるふ今世にそむかすは世にさう申して
とされしと満生軍記より信実公は事ある
りて大政を任じしなりといふこと、いふれ
けり時々たるや、年々たりたりとて其後文禄軍
うへち氏御との四十年主知する云一得也
はつとてちよと書ふに全圖の世をた

之之之之

氏御病死之
大関之
書之
之
之
之

越後中納言殿

景陽

常陸侍從

翰堂

出為待後

和光

大晴侍從殿

改宗

此乃朱子讀書一通之面々之五五なり

氏卿名將の字之何く、右ノ藤生年記追加之然るに本関書
云云考也之年戊辰八月十六日、伏見の城に於て顔齡二十
三才少くはれどもいふ本会自今より上人境を以て治果
阿比陀の額と葦原の臺と山嶺と雲霧と初と生替と横と勒